



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年1月30日

上場会社名 株式会社 東京自働機械製作所 上場取引所 東
 コード番号 6360 URL http://www.tam-tokyo.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 治男
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員経理担当 (氏名)垣内 真 (TEL) (03)3866-7171
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 4,985 | 14.2 | 167 | 307.2 | 266 | 77.2 | 180 | 52.4 |
| 29年3月期第3四半期 | 4,366 | △35.4 | 41 | △86.8 | 150 | △64.3 | 118 | △8.0 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第3四半期 | 125.14 | — |
| 29年3月期第3四半期 | 82.09 | — |

※ 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 10,776 | 4,153 | 38.5 |
| 29年3月期 | 8,951 | 3,779 | 42.2 |

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,153百万円 29年3月期 3,779百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | — | — | 4.00 | 4.00 |
| 30年3月期 | — | — | — | | |
| 30年3月期(予想) | | | | 40.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 7,500 | △0.9 | 150 | △27.8 | 270 | △23.1 | 180 | △32.6 | 125.06 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、平成30年3月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P6「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|------------|--------|------------|
| 30年3月期3Q | 1,452,000株 | 29年3月期 | 1,452,000株 |
|----------|------------|--------|------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|---------|--------|---------|
| 30年3月期3Q | 13,010株 | 29年3月期 | 12,679株 |
|----------|---------|--------|---------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 30年3月期3Q | 1,439,205株 | 29年3月期3Q | 1,439,579株 |
|----------|------------|----------|------------|

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月28日開催の第68回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施しております。

なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び業績予想は以下の通りです。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金

期末 4円

年間 4円

2. 平成30年3月期の業績予想

1株当たり当期純利益

通期 12円51銭

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)におけるわが国経済は、北朝鮮をはじめとする国際情勢など懸念材料はあるものの、欧米を中心とした景気拡大を背景に、企業収益の改善や良好な労働環境、株価の上昇が続くなど、穏やかな景気回復基調が継続しております。

このような経済情勢の下、当社は全社を挙げて業績の確保に努めました結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高49億8千5百万円(前年同四半期43億6千6百万円、14.2%増)となりました。

利益面では、前年同四半期累計期間に比べ売上高が増加したことから、営業利益1億6千7百万円(前年同四半期4千1百万円、307.2%増)、経常利益2億6千6百万円(前年同四半期1億5千万円、77.2%増)、四半期純利益1億8千万円(前年同四半期1億1千8百万円、52.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて34.0%増加し、58億6千3百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1億6千万円減少したのに対し、現金及び預金が12億2千5百万円、仕掛品が3億9千万円それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて7.3%増加し、49億1千3百万円となりました。これは、有形固定資産が減価償却等により3千7百万円減少したのに対し、投資有価証券が3億6千5百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて20.4%増加し、107億7千6百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて40.1%増加し、44億1千5百万円となりました。これは、賞与引当金が1億1千7百万円減少したのに対し、前受金が11億8千3百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて9.2%増加し、22億7百万円となりました。これは、リース債務が2千1百万円減少したのに対し、繰延税金負債が1億1千1百万円、長期借入金が4千7百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて28.0%増加し、66億2千3百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて9.9%増加し、41億5千3百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が2億5千2百万円、利益剰余金が1億2千2百万円それぞれ増加したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期通期の業績予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,096,665 | 2,322,336 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,491,227 | 1,330,862 |
| 電子記録債権 | 247,006 | 222,624 |
| 商品及び製品 | 433,835 | 464,082 |
| 仕掛品 | 925,784 | 1,315,884 |
| 原材料及び貯蔵品 | 9,765 | 8,145 |
| 繰延税金資産 | 118,079 | 118,117 |
| その他 | 101,365 | 130,570 |
| 貸倒引当金 | △48,924 | △49,378 |
| 流動資産合計 | 4,374,804 | 5,863,244 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 1,747,369 | 1,758,431 |
| 減価償却累計額 | △1,403,855 | △1,421,898 |
| 建物(純額) | 343,513 | 336,532 |
| 構築物 | 228,834 | 228,834 |
| 減価償却累計額 | △213,058 | △213,974 |
| 構築物(純額) | 15,775 | 14,860 |
| 機械及び装置 | 1,888,896 | 1,889,134 |
| 減価償却累計額 | △1,768,376 | △1,784,108 |
| 機械及び装置(純額) | 120,519 | 105,025 |
| 車両運搬具 | 10,255 | 8,605 |
| 減価償却累計額 | △10,116 | △8,570 |
| 車両運搬具(純額) | 138 | 34 |
| 工具、器具及び備品 | 269,029 | 257,688 |
| 減価償却累計額 | △261,814 | △246,097 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 7,215 | 11,591 |
| 土地 | 1,512,578 | 1,512,578 |
| リース資産 | 250,582 | 225,143 |
| 減価償却累計額 | △103,177 | △95,765 |
| リース資産(純額) | 147,405 | 129,378 |
| 有形固定資産合計 | 2,147,147 | 2,110,001 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 56,782 | 39,801 |
| 投資有価証券 | 1,633,554 | 1,999,515 |
| 関係会社株式 | 14,093 | 14,093 |
| その他 | 825,381 | 850,086 |
| 貸倒引当金 | △100,000 | △100,255 |
| 投資その他の資産合計 | 2,373,028 | 2,763,440 |
| 固定資産合計 | 4,576,958 | 4,913,243 |
| 資産合計 | 8,951,763 | 10,776,488 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,608,695 | 1,639,387 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 165,200 | 222,900 |
| リース債務 | 131,872 | 112,914 |
| 未払法人税等 | 16,097 | 56,159 |
| 前受金 | 752,780 | 1,936,703 |
| 賞与引当金 | 215,292 | 98,088 |
| 品質保証引当金 | 67,173 | 77,321 |
| その他 | 193,985 | 272,030 |
| 流動負債合計 | 3,151,098 | 4,415,503 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 300,000 | 300,000 |
| 長期借入金 | 552,900 | 599,900 |
| リース債務 | 115,404 | 93,702 |
| 退職給付引当金 | 880,902 | 925,150 |
| 環境対策引当金 | 14,273 | 14,273 |
| 繰延税金負債 | 58,485 | 169,915 |
| その他 | 99,654 | 104,639 |
| 固定負債合計 | 2,021,620 | 2,207,581 |
| 負債合計 | 5,172,719 | 6,623,084 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 954,000 | 954,000 |
| 資本剰余金 | 456,280 | 456,280 |
| 利益剰余金 | 1,646,670 | 1,769,203 |
| 自己株式 | △22,132 | △22,701 |
| 株主資本合計 | 3,034,818 | 3,156,782 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 744,225 | 996,707 |
| 繰延ヘッジ損益 | - | △85 |
| 評価・換算差額等合計 | 744,225 | 996,621 |
| 純資産合計 | 3,779,043 | 4,153,403 |
| 負債純資産合計 | 8,951,763 | 10,776,488 |

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|------------|--|--|
| 売上高 | 4,366,271 | 4,985,802 |
| 売上原価 | 3,252,929 | 3,704,838 |
| 売上総利益 | 1,113,342 | 1,280,963 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,072,223 | 1,113,520 |
| 営業利益 | 41,118 | 167,443 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,141 | 1,134 |
| 受取配当金 | 33,310 | 34,773 |
| 受取賃貸料 | 130,442 | 122,094 |
| 雑収入 | 13,315 | 9,071 |
| 営業外収益合計 | 178,210 | 167,074 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,628 | 6,927 |
| 社債利息 | 2,674 | 2,661 |
| 不動産賃貸費用 | 56,907 | 49,969 |
| 雑支出 | 1,605 | 8,226 |
| 営業外費用合計 | 68,815 | 67,786 |
| 経常利益 | 150,513 | 266,732 |
| 特別利益 | | |
| 補助金収入 | 35,105 | - |
| 特別利益合計 | 35,105 | - |
| 特別損失 | | |
| 関係会社株式評価損 | 7,659 | - |
| 特別損失合計 | 7,659 | - |
| 税引前四半期純利益 | 177,959 | 266,732 |
| 法人税等 | 59,779 | 86,625 |
| 四半期純利益 | 118,180 | 180,106 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。